

小城多久地区中学校総合体育大会結果

★女子バレーボール **優勝**

※県大会出場

★軟式野球

準優勝

★柔道

準優勝

個人戦男子 66kg 級 9 年 辻 大吾さん

※県大会出場

★女子ソフトテニス **ベスト4**

個人戦 9年 鹿江 星菜さん、森 友那さんペア

※県大会出場

選手の皆さん、暑い中本当にお疲れさまでした！

保護者の皆様、応援やサポートありがとうございました。

小学部読み聞かせ会

6月20日(金)、小学部を対象に、読み聞かせボランティアの皆様による「音とえほんのよみきかせ会」が体育館で行われました。絵本『すてきな三にんぐみ』(作:トミー・アンゲラー、訳:いまえよしも)は、スライドや朗読に加え、BGM や音の出る道具を使って読み聞かせが行われ、子どもたちは物語の世界に引き込まれ、楽しいひとときを過ごしました。

また、その場で希望者を募り、子どもたちが『金のおの』(イソップ作)に挑戦し、音読と音出しを体験しました。最後には、会場の全員で『ツバメ』(YOASOBI)を合唱し、体育館いっぱいに子どもたちの歌声が響き渡る、感動的で心温まる時間となりました。読み聞かせボランティアの皆様、ありがとうございました。



7年生人権・同和教育授業研究会

6月24日(火)、「小城市人権・同和教育研究会授業実践交流会」が開催されました。

本校7年2組の宮原教諭が、地区の代表として「自分以下を求める心」という題材で道徳の授業を行いました。いじめた経験をもつ「わたし」が書いた手紙をもとに、子どもたちは自分と向き合い、心の弱さを乗り越えることや、互いに認め合い支え合うことの大切さについて考えることができました。



3年生人権教室

6月19日(木)、法務省委託の人権擁護委員の方が来校され、3年生を対象に「人権教室」が行われました。紙芝居『白い魚とサメの子』をもとに、人権について考える授業をしていただきました。いじめられていた白い魚は、つらさから「サメに食べられた」と母に訴えます。母は涙を流して命の大切さを伝えますが、白い魚はなかなか元気を取り戻せません。そんなとき、夢に現れた龍が「仲間になるということは、仲間と同じになることではない。自分らしさを大切に。君にもいいところがある」と語りかけます。その後、嵐の中で仲間を助けた白い魚は、優しさを認められ、サメの子とも仲良くなります。そして、自分らしさとは「優しさ」と「思いやる心」だと気づきます。龍の言葉が印象に残る、心に響く授業となりました。



中学部暴排教室

6月23日(月)、中学部で「暴排教室」が行われました。佐賀県警察本部の原野さんを講師にお迎えし、リモート形式で各教室へ講話をしていただきました。暴力団の起源や犯罪の特徴、実態、過去の事件、加入を迫られたときの対処法などについて、詳しく学びました。また、映画や漫画では格好よく描かれることもある暴力団が、現実にはまったく異なる存在であることも教わりました。暴力団に近づかないことはもちろん、近づかれないようにするためには、身なりを整え、スキを見せず、声を掛けられてもはっきり断ることが大切です。さらに、楽にお金が入るといった情報に惑わされず、闇バイトなどに関わらないよう注意することの重要性も学びました。



正門前の歩道が広くなりました

正門前の校舎西側道路の歩道について、市に依頼し、ラインを引いて歩道部分を広くしていただきました。以前は、歩行者がやっと一人通れるほどの幅で、中学生が自転車を降りて通る際には線をはみ出してしまい、少し危険に感じられる状況でしたが、現在は、自転車を押しながらも安心して通れるようになっています。

また現在、1階中央ホールに「通学路の危険箇所」を記入する用紙を設置しています。用紙には、「場所」「危ないと感じる点」「どのようにしたら安全になるか」の3点をご記入いただくようになっています。校区内で危険と思われる場所がありましたら、お子様を通じて用紙をお持ち帰りのうえ、記入後に回収箱へご提出ください。

